三条市子ども・若者総合サポートシステム 平成 23 年度活動実績・平成 24 年度活動計画 【若者支援部会】

《平成23年度活動実績》

1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応

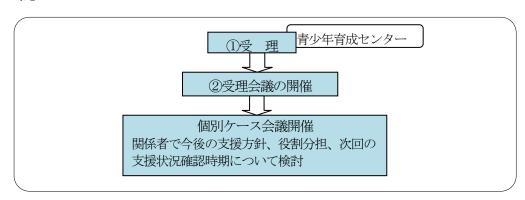
(1)把握件数(平成24年3月末現在)

区分		ひきこもり) (若者)	
人数(人)		Ę	5	
他の区分と重複して いる件数	虐待	非行	不登校	障がい 1

(再掲)「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

区分	ひきこもり(若者)
人数(人)	5

(2) 受理後の対応



受理後の対応状況 (別紙1裏面参照)

2 若者支援部会 会議開催状況

会議名	口	月 日	場所	内 容 等	参加機関数
				・平成22年度の活動実績について	
実務者会議	第1回	10月6日	青少年育成センター	・平成23年度の活動計画について	8機関
				・事例報告	O饭用
				・関係機関・組織の取組について	
	延9回] 随時	中学校時不登校だった引きこもりの状態にある子ども等につ		
個別ケース検討会議			いて、関係者で検討を行った。		
			・情報の共有		
			・支援内容の検討、関係機関の役割・連携の方法について協議		

3 周知活動

・三条市内及び近隣の高等学校に対し、高校生用の総合サポートシステムチラシを作成し周知

4 研修会·講演会

ユースアドバイザー資質向上研修

子ども・若者支援に関わる相談員等の資質向上を図るため研修会を実施するもの。

口	月日	場所	内 容	参加人数
1	9月21日 (水)	東公民館	 児童福祉について 不登校の現状について 	35 人
2	10月18日 (火)	東公民館	3 若者の雇用、就労の現状について	26 人
3	11月15日 (火)	東公民館	4 若者の非行、犯罪の現状について	26 人
4	12月12日 (月)	東公民館	5 地域における若者支援体制の充実について	27 人

5 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
・実務者会議や個別ケース検討会議をとおし、	・関係機関によって、子ども・若者への関わり
関係機関との問題意識の共有化が図られた。	方が異なるので、実務者会議等を通じて、さ
また、若者支援の重要性を認識するとともに	らに問題意識の共有化を図っていく必要があ
関係者の意識向上につながった。	る。
・支援機関相互のつながりができたことによ	・対象者の掘り起こしを積極的に進めるための
り、対象者を次のステップに「つなぐ」こと	方策を検討する必要がある。
が比較的容易にできるようになった。	

《平成24年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	口	月	場所	内 容 等
	第1回	7月中旬	育成センター	・平成23年度の活動実績について
				・平成24年度の活動計画について
実務者会議				・関係機関・組織の取り組みについて
	第2回 2月	ο 🛮	本代わいな.	・平成24年度活動の実施状況について
		育成センター	・事例の検討と問題点・課題について	
畑川 ケニフ 松計 公業	随時			・ケースの状況の共有
個別ケース検討会議				・ 今後の支援体制及び役割分担等

2 周知活動

- ・中学校3年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・市内及び近接地の高等学校等の生徒及び保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・支援が必要な家庭に対し、チラシを作成し民生委員等を通じて周知